

【第 1 検討チーム】

政見放送に手話通訳を付すことができる選挙の拡大について

<今後の方向性>

平成23年4月1日以降に投票が行われる都道府県知事選挙について、都道府県選管と協議が整った日本放送協会及び一般放送事業者において録画される政見放送に、候補者が手話通訳を付与することができるよう、関係者は、必要な取り組みを進めることとする。

参議院（選挙区選出）議員の選挙の政見放送については、都道府県知事選挙における政見放送への手話通訳の付与の実施状況等を踏まえ、手話通訳の付与の導入に向けて検討を行うこととする。

政見放送への字幕の付与について

<今後の方向性>

次回の参議院議員通常選挙の比例代表選挙における政見放送から、参議院名簿届出政党等より申し込みがあったときは、政見放送に字幕を付すこととし、関係者はこれに向け、詳細なルールづくりを含め法制上必要な規定の整備や体制の確保など、字幕付与に係る必要な取組みを進めることとする。

政見放送における手話通訳・字幕の付与について

選挙の種類	衆議院・小選挙区	衆議院・比例代表	参議院・選挙区	都道府県知事	参議院・比例代表
1 主体	候補者届出政党	衆議院名簿届出政党等	公職の候補者	公職の候補者	参議院名簿届出政党等
2 放送事業者	NHK、民放	NHK (北関東、東京はNHK、民放)	NHK、民放	NHK、民放	NHK
3 方式	①スタジオ録画方式 又は ②持ち込みビデオ方式	スタジオ録画方式	スタジオ録画方式	スタジオ録画方式	スタジオ録画方式
4 放送時間/回	9分	9分	5分30秒	5分30秒	17分 (衆参同日の場合は14分)
5 手話通訳	持込みビデオに挿入可 (法第150条第1項)	可 ※H21選挙から導入 (実施規程第8条第4項)	不可	可 ※H23.3.15施行 (実施規程第8条第6項)	可 ※H7選挙から導入 (実施規程第8条第4項)
6 字幕	持込みビデオに挿入可 (法第150条第1項)	不可	不可	不可	次回通常選挙から実施

政見放送手話通訳可能者数一覧 都道府県別・ブロック別 (2010. 8. 13. 現在)

通訳士：手話通訳技能認定試験に合格し、聴力障害者情報文化センターに登録した者

可能者：政見放送手話通訳研修会を履修した通訳士から、公務員を差し引いた数で、政見放送の手話通訳を担える者

NO	県名	通訳士	可能者	ブロック名	通訳士	可能者
1	北海道	76	17	北海道	76	17
2	青森	25	2	東北	130	36
3	岩手	17	3			
4	宮城	21	13			
5	秋田	14	5			
6	山形	12	5			
7	福島	41	8			
8	茨城	32	8			
9	栃木	22	6			
10	群馬	51	8			
11	埼玉	161	46			
12	千葉	70	13			
13	東京	571	191			
14	神奈川	271	80			
15	新潟	21	6			
16	富山	11	1			
17	石川	31	7			
18	福井	9	3			
19	山梨	25	14			
20	長野	37	16	中部	200	57
21	岐阜	22	4			
22	静岡	56	23			
23	愛知	86	26			
24	三重	36	4			
25	滋賀	34	11	近畿	471	61
26	京都	97	10			
27	大阪	176	24			
28	兵庫	111	10			
29	奈良	27	5			
30	和歌山	26	1			
31	鳥取	11	0	中国	125	27
32	島根	10	1			
33	岡山	30	7			
34	広島	51	17			
35	山口	23	2			
36	徳島	15	1	四国	75	16
37	香川	18	3			
38	愛媛	25	11			
39	高知	17	1			
40	福岡	94	19	九州	220	29
41	佐賀	4	0			
42	長崎	24	0			
43	熊本	26	3			
44	大分	18	0			
45	宮崎	19	0			
46	鹿児島	26	4			
47	沖縄	9	3			
	全国	2609	642	全国	2609	642